

高い性能の蓄光製品。 ブルーの光で市場開く

54

株式会社インパクト



暗闇でも明るい階段ステップ

地域の防災拠点構築に一役

輝度と蓄光性

災害発生時や電源喪失時に効果を発揮する電源を必要としない蓄光製品の開発、販売を手がける。同社の製品はその輝度と蓄光性が高く評価されており、大分県内各所で設置実績を増やしてきている。

2018年度は大分市の公民館などにLED併用製品が12台設置予定の他、「道の駅」などに蓄光ブロック製品等を納入予定である。

広がる市場

2017年には大分市に開設された碩田学園で蓄光看板、階段ステップ、歩行誘導板などが採用された。同学園は地域の指定避難所であり、蓄光製品が防災拠点としての価値を高めている。

人間の心理的にも優しいとされる青緑色で発光するのが製品の特徴。夜間のイベントや照明を落としたスタジアムでの利用など、市場はまだまだ広がりそうだ。



経営者から ひとこと

代表取締役
佐藤 美保恵さん

地震や津波、洪水など万が一のときの避難経路として、大分発の商品として当社独自のブルーの光の普及を目指します。

- 主な設備
輝度計

- 主な取引先
大分県、大分市、(株)菱児、(株)オー・エヌ・シー、
(株)ジーエス・ユアサフィールドディングス、
(株)長尾製作所、(株)森硝子店

独自の技術



同社の蓄光製品は屋外での使用を想定して開発されており、耐久性、耐磨耗性に優れる。ブロック型のタイル用素材は石やコンクリートの複合材として利用が可能だ。

自社の強み



独自製品の無電源LED併用型蓄光看板は太陽光パネルを活用した独立電源を備える。1メートル四方を均一に発光でき、夜間でも600メートル離れた場所から見る事ができる視認性が売りだ。

今後の展望



実績を積み重ねた結果、大分市のトライアル認定制度の認証も取得した。これまでの実績を基礎に、他の公的機関での採用や設計段階での折込などにも期待がかかる。

株式会社インパクト

TEL 097-574-8697
MAIL info@blue-impact.jp
住 所 大分市東春日町17-20ソフトパークセンタービル2F
URL <http://blue-impact.site/>
設 立 2012年5月
資本金 2,000万円
従業員 2人

その他

55 社会インフラを 緑の下で支える専門家集団

有限会社エス・エイ検査サービス

独自の技術



検査システム「デジタルラジオグラフィシステム」は構造物の内部を詳細に確認できるのが特徴。撮影後のデータを即時に確認でき、鉄鋼構造物や配管、各種機器の検査に強みを発揮する。

自社の強み



大分市内にある研修センターでは未経験者が一から学べるカリキュラムを構築。日本非破壊検査協会が定める各種資格の取得や現場に必要な技能を継続的に学び、技術者としての実力を身に付けることができる。

今後の展望



検査に必要な技能だけでなく各技術者のコミュニケーション能力を高め、専門企業としての強みを伸ばしていく。海外からの技術導入も積極的に進め、同業他社がまねできない独自性を追い求める。



構造物の傷や劣化を非破壊検査で調査する

新技術の積極的な導入による独自路線の追求

国外企業と提携

構造物の傷や劣化の状況を調べる非破壊検査。大分市内では珍しい専門企業として石油・化学プラントの検査を中心に展開している。イスラエルの非破壊検査装置メーカーと提携し、エックス線を照射して構造物の内部の状況を確認する検査システムを導入。同業の大手企業からも受注を請け負うなど、独自の検査技術を強みに業務エリアは全国に及ぶ。

インフラ維持の黒子役

かつては原子力発電所向けの検査を手がけるなど幅広い分野での検査実績も強みの一つ。関連会社の(株)ジェイテックと一体となった展開で、社会インフラの維持管理に欠かせない黒子役として歩み続けている。



経営者から
ひとこと
代表取締役
阿部 清治さん

どんな人でもスペシャリストになれるような人材育成に力を入れています。質の高いサービスを提供し、社員が現場で評価される集団を目指し続けます。

有限会社エス・エイ検査サービス

TEL 097-503-0808
MAIL info@sa-service.com
住 所 大分市高松東2丁目4番18号
URL http://www.sa-service.com/
設 立 1997年
資本金 300万円
従業員 22名

●主な設備

デジタルラジオグラフィシステム、
デジタルマイクロスコブ

●主な取引先

大手非破壊検査会社ほか

ガソリンとLPG両方が使える車を製造。 56 ニッチ市場のナンバーワンへ

株式会社エフ・ケイメカニック



LPG デュエルフューエル車の製造現場

タクシー会社からの依頼を機に開発

累計 2,200 台

自動車整備業者だが、ガソリンとLPG（液化天然ガス）の両方が使える自動車（LPG デュエルフューエル車）を製造する。現在までにタクシー会社や自動車学校、自治体向けなどへ約 2,200 台を販売してきた。

メーターの取付業務で訪問していたタクシー会社から『ガスが使える車を作ってくれないか』と言われたのが開発のきっかけ。LPG 車が普及している欧州へ足を運び、必要な部品をユニット化。日本車に適合するように取り付け、2005 年から販売を始めた。

燃料費半分に

車両の改造費用は工事費を含めて 50 ～ 70 万円。ひんぱんに自動車を利用する事業所であれば、ガソリンだけを利用する場合に比べて燃料費は半分になるという。



経営者から
ひとこと
代表取締役
古川 克巳さん

車両の開発には何度も壁にぶつかりました。でも、そこで立ち止まって考え、答えを出したことで、他のどんな商材でもやれるという自信になりました。

●主な設備

車両整備用リフト（4t）、
車載式故障診断機

●主な取引先

ダイプロ㈱、トヨタカローラ大分㈱、
岩谷産業㈱、ENEOS グローブエナジー㈱、
伊藤忠エネクス㈱、東邦ガス㈱、大阪ガス㈱

独自の技術



車両の開発には約 2 年を要した。「現場の技術を勉強できる良い機会になった」と古川社長。この経験が礎となり、さまざまな車両でユニット化が実現できるようになった。

自社の強み



ポーランドの自動車部品メーカー・AC 社の日本販売代理店を務める。車両の改造だけでなく、エフ・ケイ社が製作したガスユニットのみを購入したいという希望も多い。

今後の展望



既存車両のLPG化にとどまらず、電気自動車への改造なども今後ニーズが出てくると予想する。「ニッチな市場でオンリーワンになれる商材を目指していく」と古川社長。

株式会社エフ・ケイメカニック

TEL 097-522-7555
MAIL info@fk-mechanic.co.jp
住 所 大分市三佐6丁目2番21号
URL http://fk-mechanic.co.jp
設 立 1998年
資本金 1,000万円
従業員 17人

57 海底工事で独自の装置が活躍。 新エネ分野へも進出

沿海開発工業株式会社

独自の技術



送水管やケーブルを設置する場合は波浪などからの障害を防ぐため海底面に埋める必要がある。同社は従来から自動埋設機を利用しており、海底の汚濁防止や工期短縮に貢献している。

自社の強み



同業の専門事業者は全国に数社しかおらず、30年を超える実績で顧客からの信頼は厚い。自動埋設機のほか、古いパイプラインを自動で回収する「残置回収装置」なども自社で開発している。

今後の展望



洋上風力発電施設で発電した電気を陸上に送るための海底ケーブルの布設工事に今後本格参入する。既に千葉県銚子市や北九州市などでの実証実験に参加している。

沿海開発工業株式会社

TEL 097-549-7707
MAIL keiribu@enkai-kk.com
住所 大分市大石町5丁目3番1号
URL <http://enkai-kk.com/>
設立 1984年
資本金 1,000万円
従業員 13人



海上で海底送水管や海底ケーブルの布設工事を行う

離島のライフライン構築に貢献

工事機器を自社開発

水や電気など離島のライフラインとなる海底送水管や海底ケーブルの布設工事や防護工事を行う。

パイプラインの長さは、時には10キロメートル以上にも及ぶという。当初はダイバーの手作業などで行っていたが、独自に埋設装置を開発するなどして、正確で安全に施工するノウハウを身につけてきた。

復興に貢献

豊富な施工実績を生かして、現在は全国の港湾施設に「超音波式波浪観測装置」の設置も手がける。東日本大震災では他の事業者が施工した既設の装置が流されてしまった。復興に際して依頼を受け、同社の施工により新たな装置を設置した。



経営者から
ひとこと
代表取締役
山口 清子さん

80年代に施工した施設の多くが今後更新の時期を迎えます。これまで培った技術を生かして、我々の活躍の機会が増えそうです。

●主な設備

海底送水管などの布設台船、自動埋設機、小型作業船

●主な取引先

九州電力㈱、三井金属エンジニアリング㈱、昭和電線ケーブルシステム㈱

非破壊検査技術で事故を未然に防止。 独自の検査機器も開発

58

株式会社大川技研



プラント設備の隠れた問題点を見つけ出す非破壊検査

各種非破壊検査技術を駆使

自社で一手に

工場内のプラント設備の隠れた問題点を見つけ出す非破壊検査を主事業とする。同社の特徴は、本来はそれぞれの専門事業者が行う塗装や補修工事までも自社で行うことだ。全てを一社で請け負えることで発注側は別々にやりとりをする必要が無く、安全管理の面でもメリットがある。

カスタマイズ

非破壊検査業務は超音波やX線、放射線、磁気などあらゆる手法で行う。「プラントは人間と異なり一つひとつ構造が違う」(北川社長)ため、施設に応じてカスタマイズする。

検査で明らかになった問題点は、防食のための塗装、または部材の取り換えのための工事を行って事故を未然に防ぐ。



経営者から
ひとこと

代表取締役
北川 大滋さん

三つの業務全てにおいて、社員がしっかりと技術を保有して業務に携わっています。それぞれが大手に負けない技術レベルにあると自負しています。

●主な設備

X線照射装置、ガンマー線照射装置、
デジタル撮影装置、プラスト設備、
塗装設備、製缶設備

●主な取引先

昭和電工(株)、東海プラントエンジニアリング(株)、
日鉄住金テックスエンジ(株)、
JXTGエネルギー(株)

独自の技術



施設に応じて適切な検査を行うために、装置の自社開発を行う。長い円筒状の施設を検査する際には、管内の内部を自走して検査する「管内挿回転式連続厚さ測定システム」が活躍した。

自社の強み



2017年5月に塗装や金属加工を行うため、大分市内の工場を増設した。2.8トン×4基の天井クレーンを設置したほか、プラスト、塗装ブースを備える。

今後の展望



「検査や工事の世界にはわからないことがまだまだたくさんある」という北川社長。「IT(情報技術)やIoTを活用しながら、技術開発を進めたい」と意欲的だ。

株式会社大川技研

TEL 097-523-3888
MAIL info@ookawagiken.com
住所 大分市大字鶴崎1810番の1
URL http://www.ookawagiken.com
設立 1990年8月
資本金 1,000万円
従業員 79人

その他

59 不定形耐火物の混練装置を自社開発。 海外での普及にも期待

株式会社木下築炉

独自の技術



独自の混練装置は正確かつ安全に、炉壁を作るための技術として確立しており、取引先からの信頼も厚い。

自社の強み



一級築炉技能士の資格を持つ安樂社長は、海外の技能者の指導をすることもある。業界では職人の高齢化が進んでいるが、同社は社員の国家資格の取得を積極的に進めるなど技能の高度化を進めている。

今後の展望



フィリピンからの技能実習生を受け入れており、同国向けに製品・技術の輸出をはじめた。将来的には帰国した技能実習生が同社の混練装置を使って働いてもらうことも想定している。

株式会社木下築炉

TEL 097-523-0020
MAIL info@kinoshitachikuro.jp
住所 大分市大字迫817番地
URL http://kinochiku.co.jp
設立 平成6年9月
資本金 1,000万円
従業員 23人



独自開発した「キャストブル混練装置」

各種プラントや火葬炉などの耐火物を施工

多様なニーズに応える技術力

製鉄所や発電所などプラント関連の築炉工事のほか、火葬炉、ゴミ焼却炉などの耐火物工事を手がける。

目的に応じて多様な炉壁を作る築炉工事は職人の腕によるところが大きいことから、同社では社員の技能の高度化を進めるため、国家資格の取得を積極的に進めている。

工事品質の安定を実現

他方で、職人の高齢化や人手不足に備えるため、同社は独自の「キャストブル（不定形耐火物）混練装置」を開発。この装置は炉壁の原料となるキャストブルを一定量投入することで、これに対応する量の水を均一に注ぐ機能となっており、混練時間についてもタイマーでセットできる仕組み。職人の腕に頼ることなく、装置により正確に混練作業が行われるため、製品のばらつきをなくし、工事品質の安定を実現している。



経営者から
ひとこと
代表取締役
安樂 真澄さん

築炉工事は製造業がある限りなくならない技術です。当社の仕事は、自社開発した混練装置を使うことで、取引先からしっかりと信頼を得ています。

●主な設備

キャストブル耐火物混練装置

●主な取引先

王子マテリア(株)、AGC プライブリコ(株)、
地方自治体 ほか各種メーカー

「エピテーゼ」を通じ 心身ケアの一環に

60

株式会社クリエーション



医療用シリコンを使い、肌の色や爪の形、血管、しみなどを細部まで忠実に再現する

欠損部分を自然に忠実に再現

人工ボディー

病気や事故で失った指や耳など体の一部を再現した人工ボディー「エピテーゼ」を2016年から製作している。身体機能の回復が重視される義手や義足と異なり、装着時の見た目に違和感がないのが特徴。肌の色や爪の形、血管、しみなど依頼者の身体的特徴を把握しながら、医療用シリコンを使い手作業で忠実に再現している。

全国から注文

オーダーメイドによる依頼が主体だが、EC（電子商取引）サイトで既製品の販売も展開している。エピテーゼを試すきっかけとして全国から注文が入り、事業として広がりをみせている。



経営者から
ひとこと

代表取締役
黒崎 大介さん

まずはエピテーゼの裾野がさらに広がればと考えています。依頼者に喜んでもらうためにも、自分自身も楽しみながらさらなる可能性を追い求めます。

●主な設備

●主な取引先
各種医療機関

独自の技術



群馬県で実績を持つエピテーゼ製作者の所に毎週通い、技能を磨いてきた。歯科技工士として義歯製作で培った技術が、再現度の高さや依頼者の安心感につながっている。

自社の強み



完成度を高めるために製作前のヒアリングに力を入れる。生活で不自由に感じていることから人となりに至るまで耳を傾け、依頼者の本当のニーズを時間をかけてじっくり探っていく。

今後の展望



全国的にエピテーゼを製作する業者はまだ少ない。動画投稿サイトを通じた情報発信や医療機関への働きかけなど、さまざまな方法を駆使しながら認知度向上を仕掛けていく。

株式会社クリエーション

TEL 097-520-6232
MAIL creation@oct-net.ne.jp
住所 大分市公園通り1-6-26
URL -
設立 2008年5月
資本金 300万円
従業員 なし

その他

61 子どもたちの発想力や想像力を養う器具・遊具づくり

後藤体器株式会社

独自の技術



自社工場では溶接や切削、塗装など器具の製造に必要なあらゆる加工が可能。1人で何役もこなすオールラウンダーたちの力によって受注生産に対応している。

自社の強み



「公園施設製品整備技士」の資格を持つ従業員が11人在籍。保守・修繕のエキスパートとして遊具や器具が設置される環境を熟知し、新たな案件での提案力向上にもつなげている。

今後の展望



新製品の開発を継続的に展開し、年齢や発育状況に合わせた遊具で競争力を高めていく。地道な取り組みから新たなアイデアやシーズを掘り起こし、さらなる信頼を構築する。

後藤体器株式会社

TEL 097-521-5100

MAIL g-taiki@pepland.co.jp

住所 大分市角子南1丁目2番18号

URL http://www.pepland.co.jp

設立 1960年

資本金 1,000万円

従業員 16人



子どもたちが安心して使える遊具や器具を提供

幅広いレパートリーで自社ブランド製品の開発にも注力

専門メーカー

学校で使うスポーツ器具や遊具の専門メーカーとして創業当時から跳び箱やシーソーなどを手がけ、幅広い製品レパートリーを持つ。デザインから設計、製造、設置まで一貫した体制を築き、大分県内を中心に公共施設や公園などさまざまな場所に納入してきた。設置済みの器具による事故を未然に防ぐための保守や修繕にも力を入れ、子どもたちが安心して使える環境を提供している。

自社ブランド製品

近年は自社ブランド製品の開発を強化しており、2015年に販売を開始した幼児用遊具「PAO」はパズル感覚でアイテムの組み合わせを楽しめるのが特徴。安全性能や独自の締結具で特許を取得し、全国展開している。



経営者からひとこと

代表取締役社長
後藤 芳正さん

子どもたちが安心できるように遊具としての安全性を追求し、時代のニーズに応えながら遊びの価値を提供していきます。

●主な設備

旋盤、フライス盤、アイアンワーカー、溶接機、NCルーター、高温焼付乾燥設備

●主な取引先

大分県、大分市、幼稚園・保育園

患者の笑顔を生み出す 県内最大規模の歯科技工所

62

有限会社ピーエムラボ



個人で異なる補綴物を一つ一つ製作する

現場の自動化で日本一働きやすい職場づくり

商社と協力

従業員が100人を超える、全国でも有数の歯科技工所。全国に営業拠点を持つ歯科技工関連の総合商社「成田デンタル」と営業面で協力、九州内外の歯科医院と取引がある。「歯」は医療だけでなく美容の観点からも注目度が高い。入れ歯や銀歯といった一般的なものから、1本10万円程度するような審美性の高い差し歯の製作を手がける。

自動化を推進

個人事業の技工士や結婚出産で離職した技工士を積極的に採用。「日本一働きやすい歯科技工所」を目指している。歯形は1人1人異なるため量産できず手作業が多いが、設備投資によって自動化を推進する。従業員が無理なく、長く働ける環境を整える。



経営者からひとこと

代表取締役社長
堤 大輔さん

高齢化の現在、医療は景気の波に左右されにくく、成長が見込める分野です。若手が活気づく弊社と一緒に働きましょう。

●主な設備

ミリングマシン、オストロマット、プレジデント

●主な取引先

全国の歯科医院、(株)成田デンタル

独自の技術



会社のスケールメリットを生かした分業制を採用している。新卒者は特定の工程に集中して技術を磨き、作業負担が少ない。スペシャリストの集団によって高い顧客満足度を獲得している。

自社の強み



患者負担が小さい口腔内スキャンに対応した3DCADシステムを導入している。石こうの印象変形がなく、精度の高いオーダー品を短納期で納品できる。価格や品質面で高い競争力を持つ。

今後の展望



現場の機械化と職場環境の改善によって人手確保に努める。営業面では成田デンタルとの協力体制を強化。関東圏での受注を増加させ、売り上げ増を目指していく。

有限会社ピーエムラボ

TEL 097-558-1713

MAIL pmlabo10@triton.ocn.ne.jp

住所 大分市中津留2丁目6番20号

URL http://www.pmlabo.net

設立 1975年

資本金 1,200万円

従業員 101名

その他

63 超高齢社会へ対応。高齢者、障がい者に配慮した理美容、介護・福祉機器を開発

—— 有限会社ビューティフルライフ

独自の技術



大分市内にある自社店舗「Aya」はバリアフリーのモデル店。各種の開発製品は先ずここで実際に利用し、実用化の検証も行ない、(一社)テクノエイド協会の承認を受けて有効性調査等も実施している。

自社の強み



医療や介護等の専門家との連携により「福祉理美容ガイドブック」を出版した。高齢者等へのサービス提供においてどこに危険が潜んでいるかを把握した施術により他社との差別化を図る。

今後の展望



製品は、厚生労働省「人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース）」対象製品として普及促進を図ると同時に、好評な使い捨てタオルやケープ等衛生用品の普及と販売拡大をめざす。

有限会社ビューティフルライフ

TEL 097-546-0666

MAIL info@be-life.info

住 所 大分市大字三芳939番地の15

URL http://www.be-life.info/

設 立 2000年5月

資本金 300万円

従業員 22人



多機能いすとウォッシュサポートを利用しフットケアをする医療現場

ボランティア活動きっかけに次々と製品化

自ら開発

もともと理容師として活躍していた田中社長。ボランティア活動の一環で高齢者施設や福祉施設への訪問理美容を行っていた。

事業化後の現在は150ほどの契約施設を訪問するという同社。訪問理美容の現場では高齢者や障がい者の実態に配慮した機器がなく、現場では対応に苦慮していた。同社はものづくりの経験が無いにもかかわらず、自ら福祉理美容用品の開発に取り組むこととなった。

特許も取得

開発した福祉用車いすをはじめ、洗浄用ボウル、体圧分散クッションなどを、専門家の意見も取り入れながら自社で開発してきた。また医療現場でも利用できるように、国内外の特許等を取得している。



経営者から
ひとこと

代表取締役
田中 晃一さん

「地域包括ケア」に理美容として貢献する機器や消耗品ですが、フットケア・口腔ケアなど、在宅療養・介護で活用されることを願っています。

●主な設備

移動理美容車（施設訪問用）

●主な取引先

(株)ダリア、(株)アステム、医療機関、介護・福祉施設

微生物を用いた 固液分離式バイオトイレで成長

64

株式会社ミカサ



固液分離式を採用したバイオトイレ

建設現場ではレンタル方式が人気

参入から四半世紀

山間地や建設現場で使われる自己処理型トイレの製造販売を手がける。25 年前に燃料式トイレで業界に参入し、試行錯誤を続ける中で現在の微生物の力で処理を行うバイオトイレに行き着いた。

レンタルが人気

異なる目的の二つの槽を用いた方式を採用し、水を使わず、臭いも少ないのが特色。固体と液体を分離することにより処理の効率を高める。杉のチップが入った第1槽で固形物をかき混ぜ、網を通過した液体は第2槽で曝気（ばっき）処理を行い、蒸発を促す仕組みとなっている。

バイオトイレの売り上げの4分の1は、レンタル方式によるもの。建設現場などでの人気が高い。



経営者から ひとこと

代表取締役
三笠 大志さん

被災地やイベント会場など目的に応じたトイレをお届けできるよう、同業他社と自己処理型トイレ研究会を設立し、最適なトイレを提供しています。

●主な設備

●主な取引先

全国の地方自治体、
（株）九建、（株）管組

独自の技術



二つの処理槽を使った処理方式は独自のもの。また、杉のチップを使っているのも特色だ。もみ殻やおがくずを使うものに比べて長期間利用することができ、メンテナンスの負担が小さいという。

自社の強み



三笠社長は「25 年以上事業を継続してきたこと」を強みに挙げる。自己処理型トイレ業界は新規参入と撤退が繰り返されている。そんな中で長年事業を続けた同社に対する顧客からの信頼は厚い。

今後の展望



技術開発は自社の基盤であり、IoTを使った遠隔監視型や、他の処理技術と組み合わせたハイブリッド型など、今後の開発にも意欲的。新方式のトイレの発売もそう遠い日の話ではなさそうだ。

株式会社ミカサ

TEL 097-551-8826

MAIL info@mikalet.jp

住 所 大分市高城西町7-27

URL https://www.mikalet.jp/

設 立 1989年

資本金 1,000万円

従業員 6人

その他

さまざまな造作物に対応。 繊細さから生み出される迫力の産業模型

わこう
有限会社和巧

独自の技術



建築や土木などジャンルに特化した同業者が多い中、さまざまな造作物の製作に対応できるのが強み。自社ブランド製品も精巧な技術に注目した模型雑誌からの思わぬ反応をきっかけに生まれた。

自社の強み



模型の出来を左右するのは製作前の打ち合わせ。依頼者のニーズを探る中で細かな仕様や納期、効率性に反映している。製作に使う樹脂など素材に関する情報収集も精度を高める上で欠かせない。

今後の展望



主力の産業模型製作は、特殊な依頼にも応えながら同業者にはない技術的な強みを伸ばす。自社ブランド製品は海外からも反響もあり、一般の人々が模型に親しむきっかけとして期待を寄せる。

わこう
有限会社和巧

TEL 097-556-7675
MAIL hori@model-wako.co.jp
住 所 大分市大洲浜2丁目2番30号
URL http://www.model-wako.co.jp
設 立 1986年
資本金 300万円
従業員 2人



展示用の精巧な地形図などを製作

多彩な製作実績が新たな広がりへ

入札案件も受注

建築物や地形図、文化施設の展示物といった産業模型を製作している。設計事務所やディスプレイデザイン会社からの受注を中心に関東以西の幅広い案件に携わり、大手ゼネコンのコンペで使われる模型も手がける。近年は自治体施設の直接入札案件を受注するなど自社でも積極的な動きを展開する。

ペーパークラフト

模型製作で培ったノウハウを生かし、再生紙をレーザー加工した自社ブランドのペーパークラフト「紙創り」も手がけている。繊細な造形で植物を再現した製品は約100種類をそろえ、東京や静岡の展示会にも出展。大手模型メーカーとコラボレーションした製品も製作している。



経営者から
ひとこと
代表取締役
堀 博章さん

特殊な仕事ですが世の中になくてはならない仕事だと思っています。今後も人に役立つという自負を持ってニーズに応えていきます。

●主な設備

炭酸ガスレーザー加工機

●主な取引先

大手設計事務所、ゼネコン、広告代理店、自治体